

WinActor Ver.7.7 新機能紹介

AIとともに、もっと使いやすく
もっと使い続けやすく

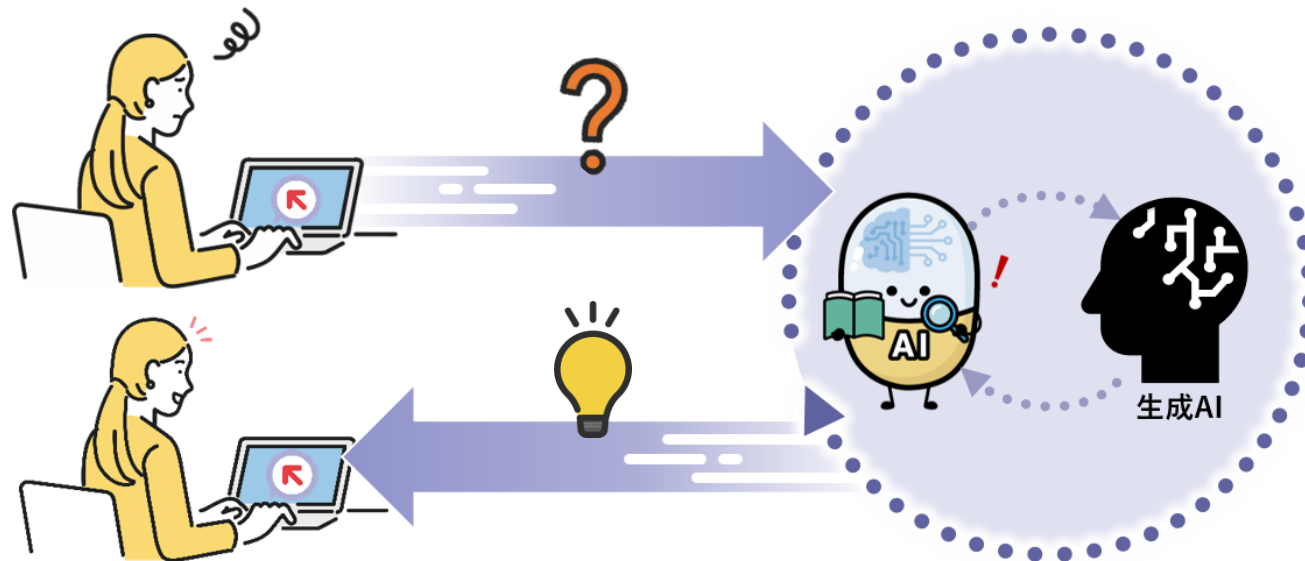
WinActor Ver.7.7

AIヘルプによる自己解決支援と、開発・運用支援機能の強化による継続活用の実現

生成AIを活用したAIヘルプの搭載により、操作方法やエラー対応の疑問をその場で解決できるようになりました。さらに、ライブラリ管理機能やPython化支援機能の強化により、これまで作成・利用してきたシナリオやライブラリを、将来にわたって活用しやすくなりました。

「分からない」を減らし、「作った資産を活かし続ける」。

WinActor Ver.7.7は、業務自動化の定着と継続活用を支援します。



1 定着を支援

1-1.AIヘルプが解決する課題

1-2.AIヘルプの利用イメージ

2 継続利用を支援

2-1.ライブラリPython化が解決する課題※

2-2.ライブラリPython化の支援※

2-3.ライブラリ管理・更新の課題を解決

2-4.ユーザー独自ライブラリの登録・最新化

3 活用範囲を拡大

3-1.データ操作ノード(ローカル業務アプリケーション)

3-2.Outlook操作ライブラリ(Microsoft Graph)

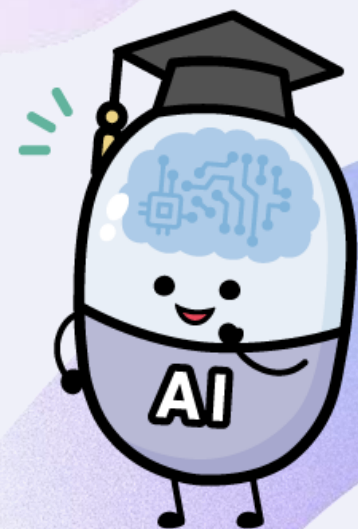
4 利便性向上

4-1.AI活用状況の見える化

4-2.AI連携ライセンスの改善

※  AI連携ライセンスのみ

1. 定着を支援



1-1.AIヘルプが解決する課題

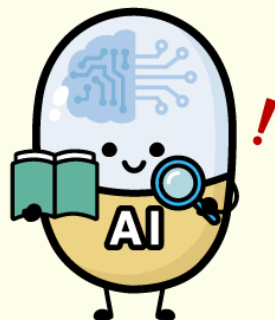
課題

- 操作方法が分からず、作業が止まる
- エラー発生時に原因や対処方法を調べるのに時間がかかる
- サポート窓口への問い合わせにより業務が止まる



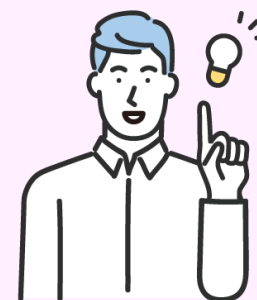
解決

- AIが操作方法やエラーの原因・対処方法をその場で回答
- チャット形式で気軽に質問可能



期待できる効果

- 操作中の疑問をその場で解決
- エラー対応時間の短縮
- 利用者自身で解決できる機会が増え、業務が止まりにくくなる

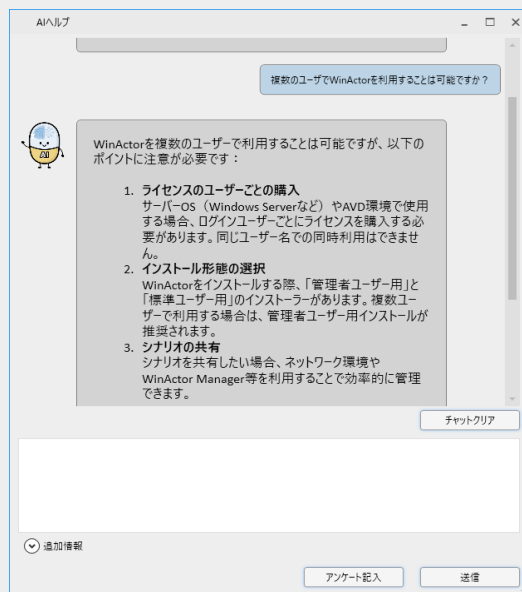


1-2.AIヘルプの利用イメージ

チャットで質問するだけ！ 操作方法やエラーの対処方法をAIがその場で回答します

使い方が分からず思い通りに動かない

- 使い方が分からず進めない
- エラー原因が分からず止まる



つまずいても、その場で解決

AIが使い方やエラーの原因・対処法を回答

操作方法やエラーの対処、
どうすればいいんだろう

すぐ答えがわかった！
これで作業が進む！

AIヘルプが
即座に回答

生成AI

※AIヘルプは、インターネット環境があればご利用できます。

※本機能利用時、NTT-ATの管理するサーバー、および、Azure OpenAIのサービスが提供されるサーバーと通信します(国内リージョンのみ)。

2. 継続利用を支援



2-1. ライブラリPython化が解決する課題

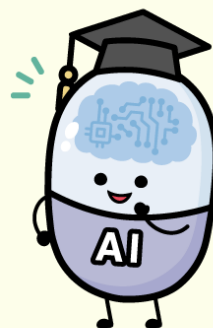
課題

- Pythonへの移行作業に手間がかかる
- 移行のために新たなライブラリ開発やPythonの学習が必要になる



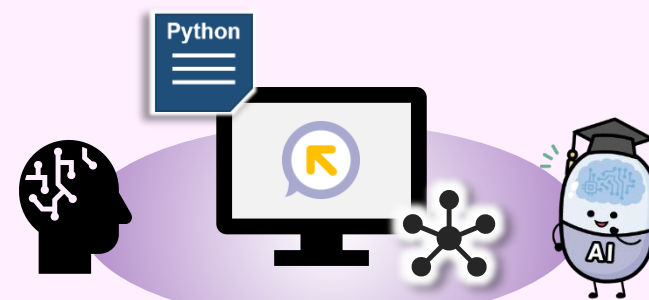
解決

- AIが既存のVBScriptライブラリをPythonへ変換する作業を支援
- 変換結果を確認しながら保存・利用可能



期待できる効果

- Pythonへの移行作業を効率化
- 既存のVBScriptライブラリを有効活用できる
- 将来のVBScript非推奨化にも対応しやすくなる



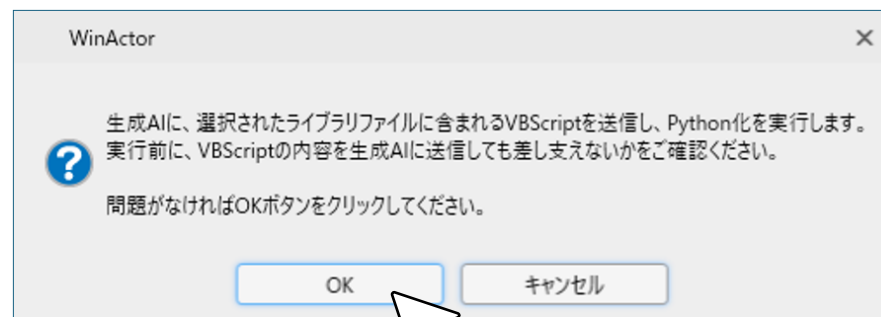
AI連携ライセンスのみ

2-2. ライブラリPython化の支援

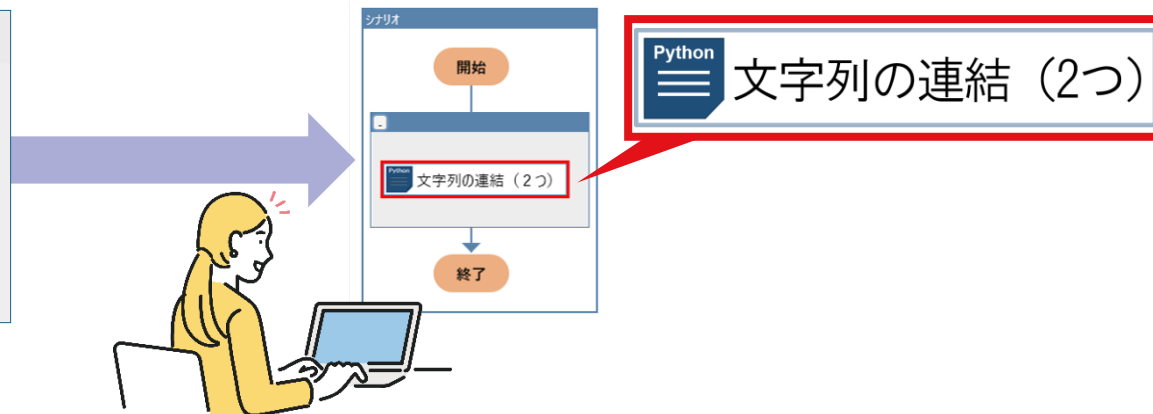
AIが既存ライブラリのPython化を支援

MicrosoftがVBScriptの段階的な廃止を進めているため、将来も安心して利用できるようPythonへの移行を支援します。VBScriptで作成したライブラリを活かしながら、新しい環境への移行を効率よく進められます。

既存のVBScript資産を選択するだけで、
生成AIがPython化を支援



Python化したライブラリが表示
内容と動作を確認してから保存



- 本機能は生成AIによる変換を支援するものであり、生成されたPythonライブラリの動作を保証するものではありません。ご利用にあたっては、出力されたコードを確認したうえでご活用ください。
- 生成AIは、NTT-ATが管理するサーバおよび国内のAzure OpenAI環境を利用しているため安心です。

2-3. ライブラリ管理・更新の課題を解決

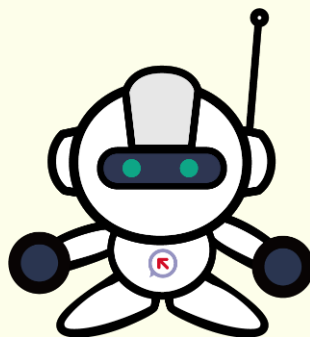
課題

独自に作成したライブラリを修正した場合、そのライブラリを利用しているシナリオを1つずつ更新する必要があり、作業に手間がかかる



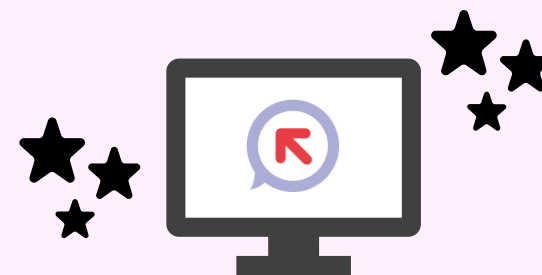
解決

ユーザー独自ライブラリを登録し、利用中のシナリオ一括して最新化できる



期待できる効果

- 更新作業の負担を軽減
- 更新漏れを防止
- 修正内容を効率よく反映できる



2-4. ユーザー独自ライブラリの登録・最新化

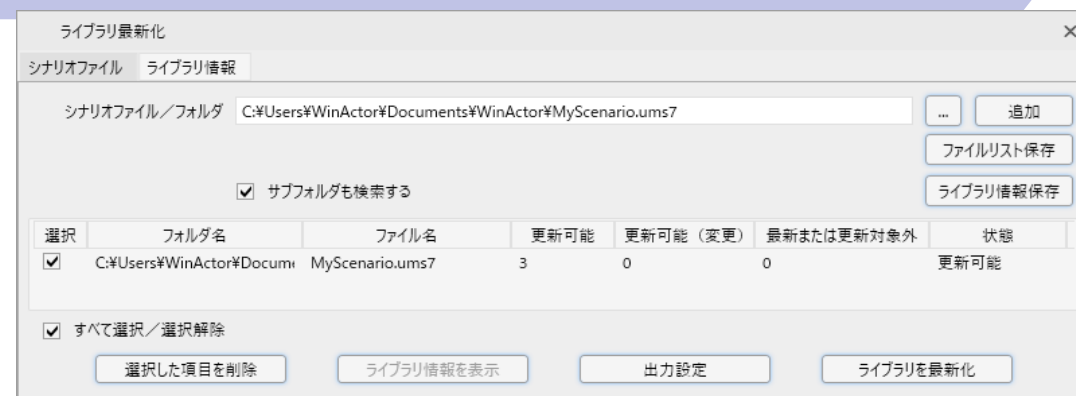
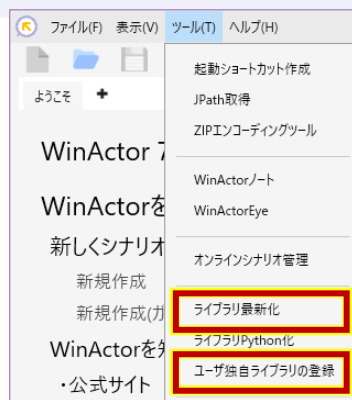
ライブラリの管理・更新をもっと簡単に

自分で作成したライブラリを登録し、まとめて更新できるようになりました。
更新作業の手間や更新漏れを減らし、継続的な運用をサポートします。

[ツール] > [ユーザ独自ライブラリの登録]
[ツール] > [ライブラリ最新化]
から起動します。

ユーザが作成したライブラリを
WinActorに登録します。

シナリオに配置されたライブラリを一括して最新化します。



最新化

選択	フォルダ名	ファイル名	更新可能	更新可能 (変更)	最新または更新対象外	状態
☒	C:\Users\WinActor\Documents\WinActor\MyScenario.ums7	MyScenario.ums7	0	0	3	更新対象なし

3. 活用範囲を拡大



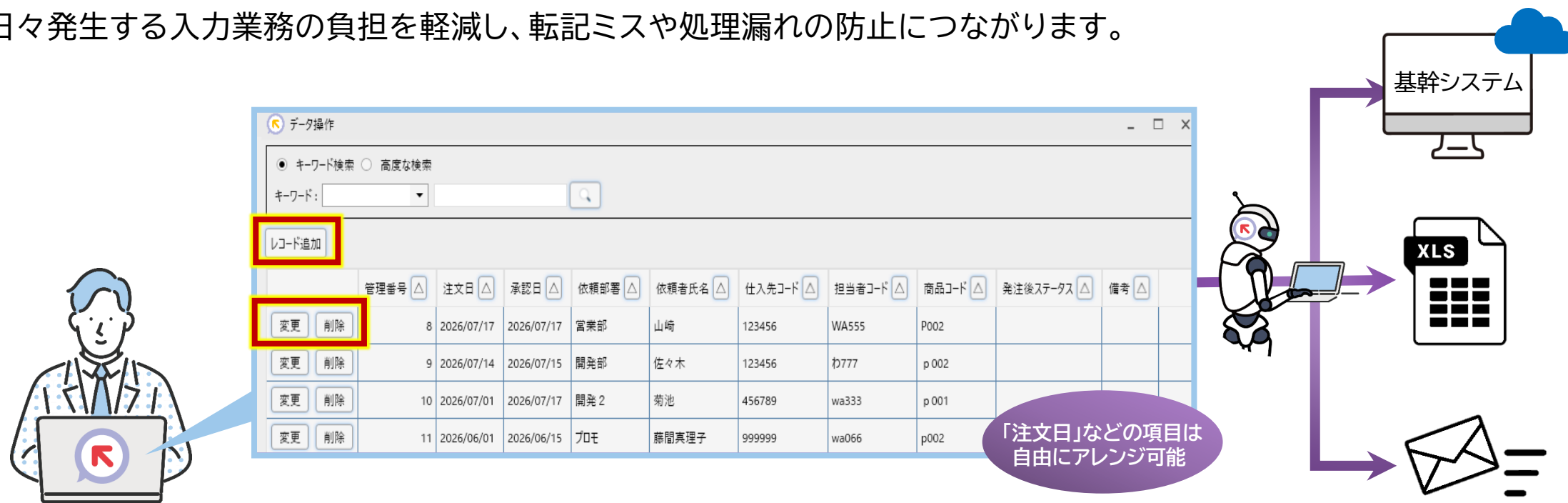
3-1. データ操作ノード(ローカル業務アプリケーション)

ファイルのデータをアプリ画面で直接操作できるようになりました

業務に合わせた入力画面をWinActor上に作成できます。

担当者は、その画面に情報を入力するだけで、ExcelやCSVへの登録・更新はもちろん、既存のWinActorシナリオと連携してシステム登録や通知処理まで自動化できます。

日々発生する入力業務の負担を軽減し、転記ミスや処理漏れの防止につながります。

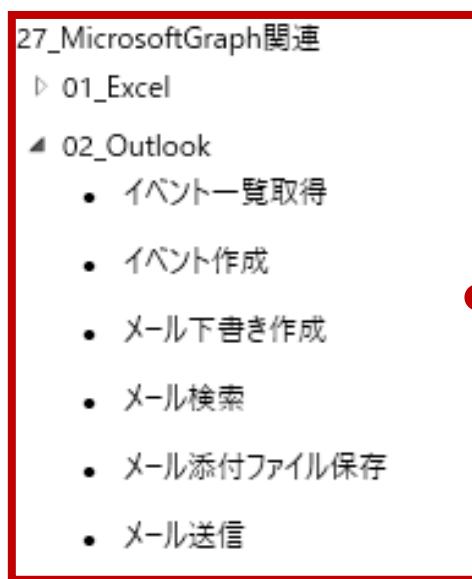


※各機能の詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「1.24 ローカル業務アプリケーション」「4.4.11 データ操作」をご参照ください。

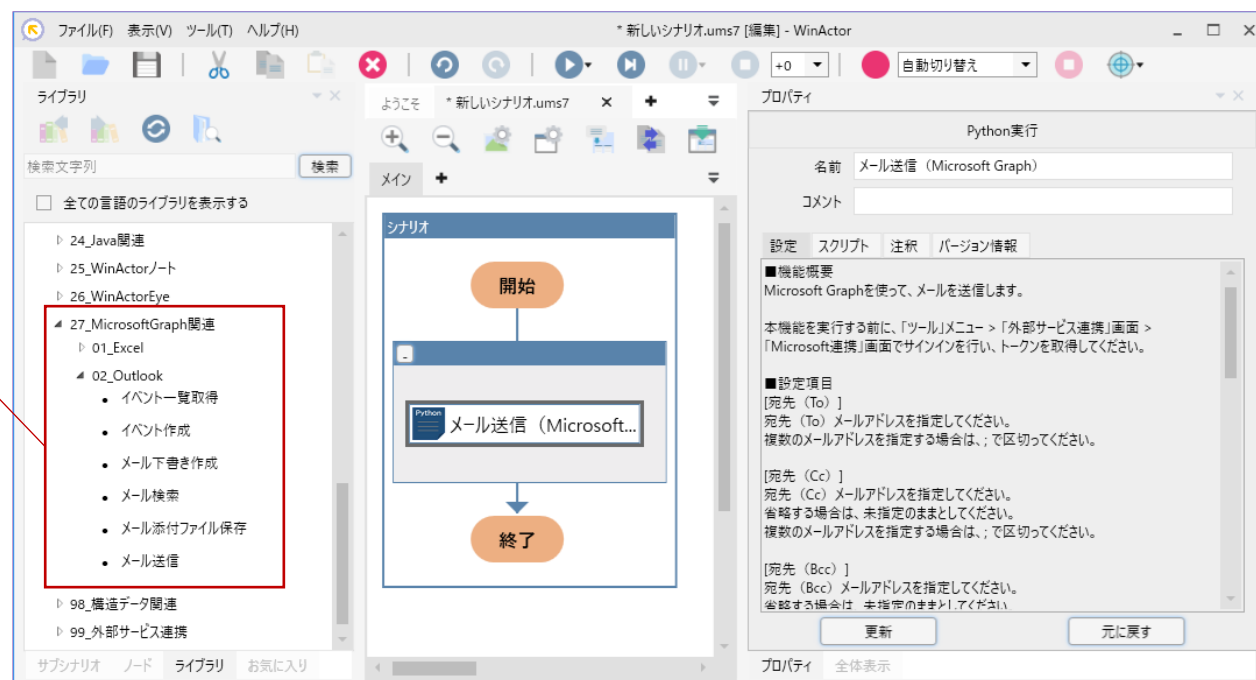
3-2.Outlook操作ライブラリ(Microsoft Graph)

これまでのOutlookアプリ操作に加え、Microsoft 365のOutlookとも直接連携

ローカル環境とクラウド環境を問わず、メール送信や予定表管理などのOutlook業務をOutlookアプリ操作同様に簡単に自動化できます。



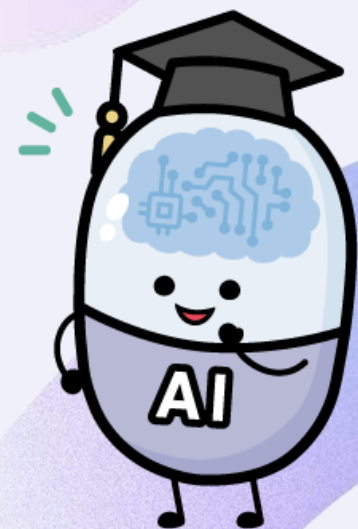
ライブラリパレットの
[27_MicrosoftGraph関連]
> [02_Outlook]
配下に追加されています。



※本機能を実行するためには、連携画面でMicrosoftアカウント認証が必要です。

詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.2.3 ツールメニュー」の「外部サービス連携 Microsoft連携画面」をご参照ください。

4. 利便性向上



4-1. AI活用状況の見える化

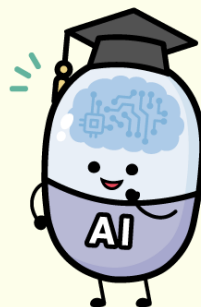
課題

- 生成AI活用の効果を見ながら、さらに利用範囲を広げていきたい
- AI連携ライセンスをより有効に活用するための情報を把握したい



解決

- 生成AI利用量やライセンス利用状況を確認できる専用管理画面を提供
- ライセンスの利用状況が見える化



期待できる効果

生成AI利用量やライセンス利用状況を把握し有効的にライセンスを活用できるようになる



4-2. AI連携ライセンスの改善

AI連携ライセンス専用の管理画面を追加しました

利用状況を確認できるため、ライセンス管理や運用をより簡単に行えます。

オプション

記録 編集 時刻 ログ スクリーンセーバー 更新 ブラウザ ガイド利用 その他
管理サーバ AI連携ライセンスサーバ プロキシサーバ サーバ接続状況 ログサーバ 実行

ライセンス取得のための、保守契約IDとパスワードを設定してください。
PC名にはご利用の環境を識別する名前を入力できます。
生成AI利用量とライセンス状況の表示を更新する場合は、表示更新ボタンを押してください。

AI連携ライセンスサーバ

保守契約ID 認証チェック

パスワード

PC名 表示更新

最終更新日時: 2026/02/26 18:27:33 +09:00

生成AI利用量 消費率: ---%
(累計: --- / 上限: 30000)

最終更新日時: 2026/02/26 18:27:33 +09:00

保守契約ID

ライセンス種別 ☒ フル機能版 ☐ 実行版

ライセンス数 利用数: --- / 上限数: 10

ライセンス終了日時 2026/07/01 00:00:00+09:00

更新日時	PC名
2026-02-26T18:27:34+09:00	

OK キャンセル

[ツール] > [オプション] > **[AI連携ライセンスサーバ]** タブを開きます。

製品版のAI連携ライセンスをご利用の際は
WinActorライセンス証書に記載の保守契約ID、
ライセンスサーバパスワードを設定してください。
評価版でご利用いただく際は設定不要です。

契約したAI連携ライセンスの**生成AI利用状況**が表示されます。

契約したAI連携ライセンスの最新の利用状況が表示されます。

※Ver.7.7.0 AL版の利用にはNTT-AT提供のAI連携ライセンスサーバとの接続が必要です。

ご利用の環境にてインターネット接続のためにプロキシ接続が必要でしたら、WinActor起動後に
オプション画面よりプロキシサーバの設定を実施してください。

※  **AI連携ライセンスのみ**



WinActor®はNTTアドバンステクノロジーの登録商標です

WinActor[®]が、
仕事を変える。
あなたを変える。
組織を変える。